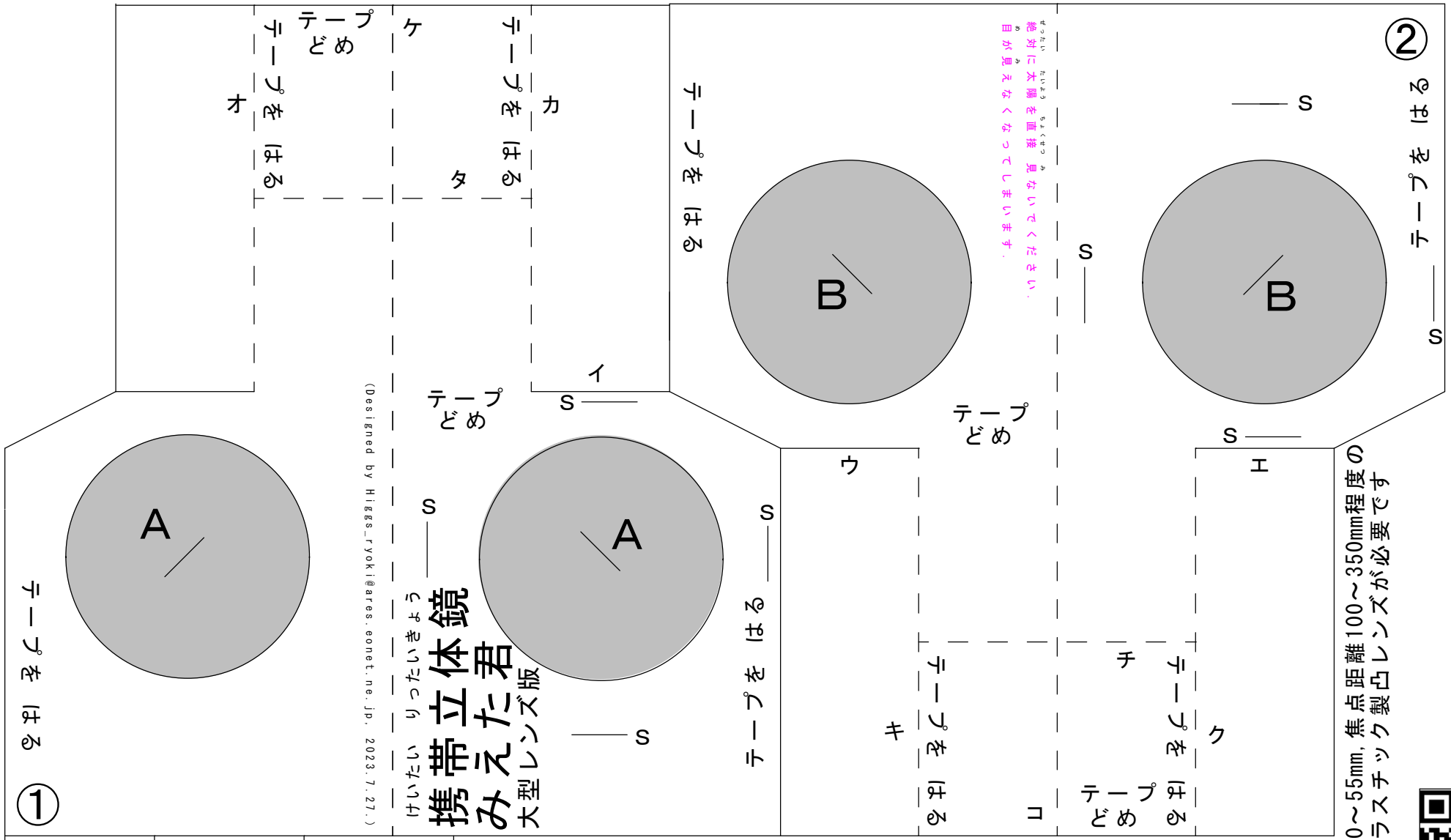
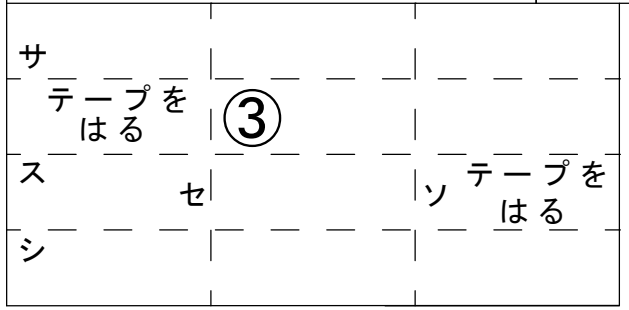


直径50～55mm, 焦点距離100～350mm程度の
プラスチック製凸レンズが必要です

←この図のpdfやビュアーソフト,
説明書はこちらから

八田荘地球学研究所
Hattaso Institute of Geology and GeoSciences
http://www.eonet.ne.jp/~ryoki/index.html



つくり方

1. ①②③を実線で切りとる。
2. ①,②を軽くまげてA,Bの実線に切れ目を入れ, はさみをさしこんでA,Bを丸く切り抜く.
3. ①のア,イと②のウ,エに切れ目を入れる
4. ①のオ,カと②のキ,クの点線を山折りする。
5. ①のケと②のコの点線を山折りする。
6. ①②の穴A,Bの間にレンズを入れる。
7. レンズの周囲S(8ヶ所)をステープルでとめる。
8. ①②の下部にテープをはって、とめる。
9. ③のサとシを山折りする。
10. ③のスの点線を山折りする。
11. ③のセ、ソを谷折りする。
12. ③の重なりにテープをはって、輪のようにする。
13. ①のケに12で作った輪③を通す。
14. 12で作った輪③に②のコを差し込む。
15. ②のチを谷折りにしてテープどめすれば, できあがり。
16. 「みえた君」をメガネのようにして、伸び縮みさせる。
    一方の目で立体視用の図の一方だけを見る。
17. 左右の図が重なって見えるように①②の位置を変える。
18. 左右の図が一つに重なって見えたら
    がんばってピントをあわせる。

絶対に太陽を直接 見ないでください. 目が見えなくなってしまいます.